

朝日山地森林生態系保護地域 マナーガイド

東北森林管理局

インフォメーション

朝日山地一帯の国有林は、我が国有数のブナを主体とする天然林からなり、野生動物の種数・個体数ともに豊富で、生物遺伝資源、森林生態系としてきわめて重要です。このため東北森林管理局では、平成15年3月にこの重要な森林を森林生態系保護地域に設定し、永く後世に継承していくこととしました。入林にあたっては、準備をしっかりし、無理せず安全な登山を心がけるとともに、野生動物を大切に、ゴミの持ち帰りに心がけてください。

連絡先

- 朝日庄内森林生態系保全センター
山形県鶴岡市下名川落合3
TEL 0235-58-1730
- 庄内森林管理署
山形県鶴岡市末広町23-37
TEL 0235-22-3331
- 山形森林管理署
山形県寒河江市元町1-17-2
TEL 0237-86-3161
- 置賜森林管理署
山形県西置賜郡小国町大字岩井沢581-45
TEL 0238-62-2246

朝日山地森林生態系保護地域管理委員会
環境省東北地方環境事務所
出羽三山の自然を守る会
新潟県農林水産部林政課
新潟県村上市
山形県環境エネルギー部
みどり自然課
山形県溪流釣り協議会
山形県山岳連盟
山形県鶴岡市
山形県内水面漁業協同組合
連合会
山形県西川町大井沢区
山形県猟友会
山形大学農学部
(50音順)

入林のマナー

- ペットの持ち込みはやめましょう
犬などのペットは他の登山者の迷惑になるばかりでなく、野生動物に悪影響を与えたり高山植物を踏みつけたりします。
- テント設営は禁止されています
大鳥池のキャンプ地以外はテントの設営は禁止されています。生態系の保護にご協力をお願いします。
- ストックにはプロテクターを
登山道や植物などへダメージを与えないよう、雪渓や岩場以外ではストックの石突きにキャップを装着するようにお願いします。
- 林道の交通安全
登山口までの道は、幅が狭くカーブの多い林道です。スピードの出しすぎ等にご注意ください。家に帰るまでが山行です。

森林生態系保護地域へのスノーモービルの乗り入れはご遠慮ください

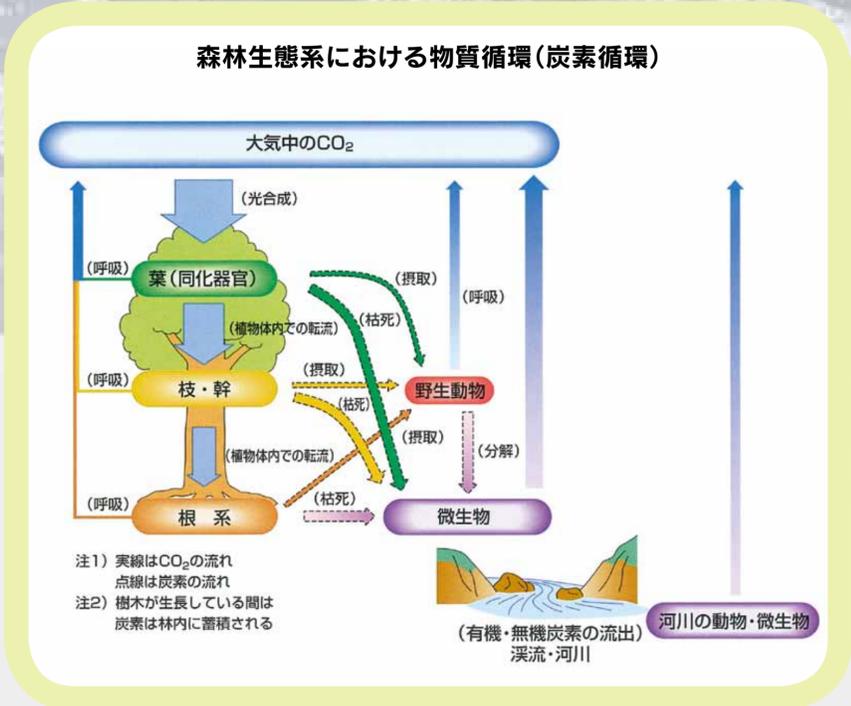
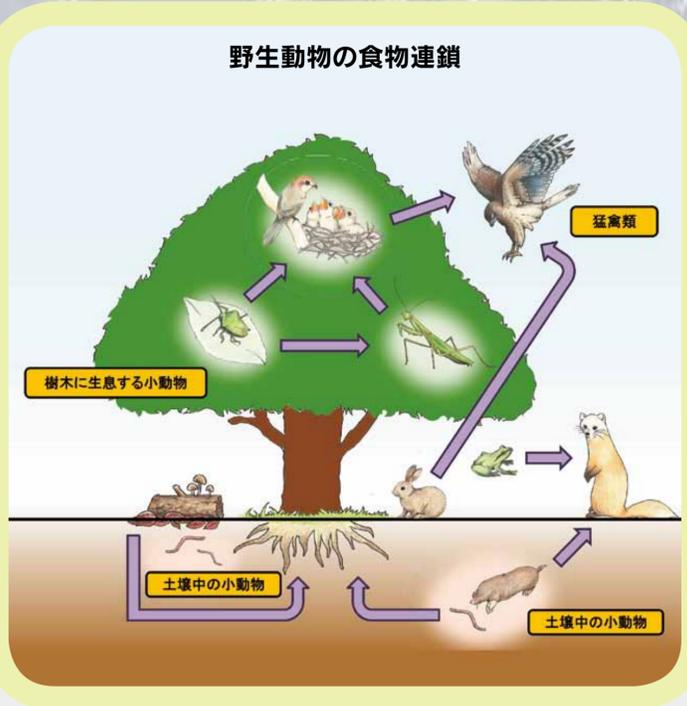
森林生態系保護地域は、貴重な動植物をはじめ原生的な森林生態系が護られているところです。ここでのスノーモービルの走行はエンジンの騒音やトラックベルト等による樹木の損傷等により、生態系へ影響を及ぼすことがおおいに心配されます。この地域へのスノーモービルの乗り入れは、ご遠慮下さるようお願いいたします。

登山の心得

- 十分な装備
山の天気は急変するため、常に十分な装備を心がけましょう。
- 登山計画はしっかりと
・地図や山岳雑誌などで十分な情報を収集しましょう。
・自分の体力・技術に見合った時間配分をしましょう。
・登山カードや登山計画書を必ず提出しましょう。
- 自己管理自己責任
・登山は常に危険と背中合わせです。登山計画や安全対策は人任せにせず、自分の責任で行動しましょう。
・天候や体調の変化を見極め、早めの判断が大切です。状況によっては、登山を断念したり、引き返す勇気も必要です。

朝日山地の森林生態系

●森林生態系とは
動物や植物などの生き物、あるいはそれを取りまわっている環境(大気、水、土壌、光など)は、相互に物質とエネルギーのやり取りが行われ、お互いにつながりをもっています。これを「生態系」といいます。
森林は、樹木をはじめとしてさまざまな生き物たちが、生存競争や共生を行うなど互いに影響しあって成り立っており、生態系を代表するものです。
森林は太陽光の下で光合成によって大気中の二酸化炭素を取り入れ、さらに根から窒素やミネラルなどの養分を吸収して自らの樹体を作っています。これを草食動物が食べ、さらに肉食動物がこの草食動物を食べて生命の維持を図ります。このように「食べる―食べられる」という生き物どうしを食物連鎖といえます。
動植物が死ぬと土壌微生物などによって分解され、炭素や窒素は気体となって再び大気に戻っていきます。このように森林生態系では種々の物質が生き物や環境の中を絶えず流れており、これを物質循環といえます。



●朝日山地の森林植物と高山植物
朝日山地は冬季の北西からの季節風の影響を強く受け、他に例を見ない豪雪地帯であるために、深い谷や非対称山稜など多様な地形環境を構成しています。針葉樹林帯が発達せず、標高1,400mあたりから上は「偽高山帯」が発達して高山植物が豊富な、特異な植生です。
このため生育する植物も多種多様です。また、長い間ほとんど人手が加わらなかったために原生的な自然状態が維持されてきたことも大きな特徴となっています。
標高1,200m以下には、ブナを主体にミズナラ、イタヤカエデ、沢部を中心にトチノキ、サワグルミなどの高木の落葉広葉樹林が植生の主要を占め、下層にはハイイヌガヤ、ヒメアオキ、ハイイヌツゲ、エゾユズリハ、ヒメモチなど特に日本海側にみられる常緑伏状低木が生育しています。1,200m以上にはミネカエデ、ナナカマド、ミヤマナラなどの低木群落が優占し、さらに上部で北西季節風を直接受ける稜線にはハイマツが、風下側にはチシマザサなどが生育し、高山植物の宝庫となっています。
朝日山地は、2,000mにみえない連峰ですが、そこに生きる動植物は豊富で、生物多様性がきわめて高いと言えます。



●朝日山地の野生動物
朝日山地は山地帯を代表するブナ等を主体とした落葉広葉樹が面積に分布し、広大な森林生態系をかたちづいています。このため野生動物の餌となる木の実や小動物のすみかとなる落葉落枝が豊富にあり、多種多様な動物の生息を可能としています。
ツキノワグマやカモシカ、あるいはイヌワシ、クマタカなどの生息地となっています。食物連鎖の上位に位置するこれらの大型哺乳類や猛禽類が数多く生息することからも、その餌となる小動物がきわめて多く生息していることが推測できます。



朝日山地森林生態系保護地域

国有林のうち、原始的な天然林を保存することにより自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、学術研究に役立てるために設定したものです。



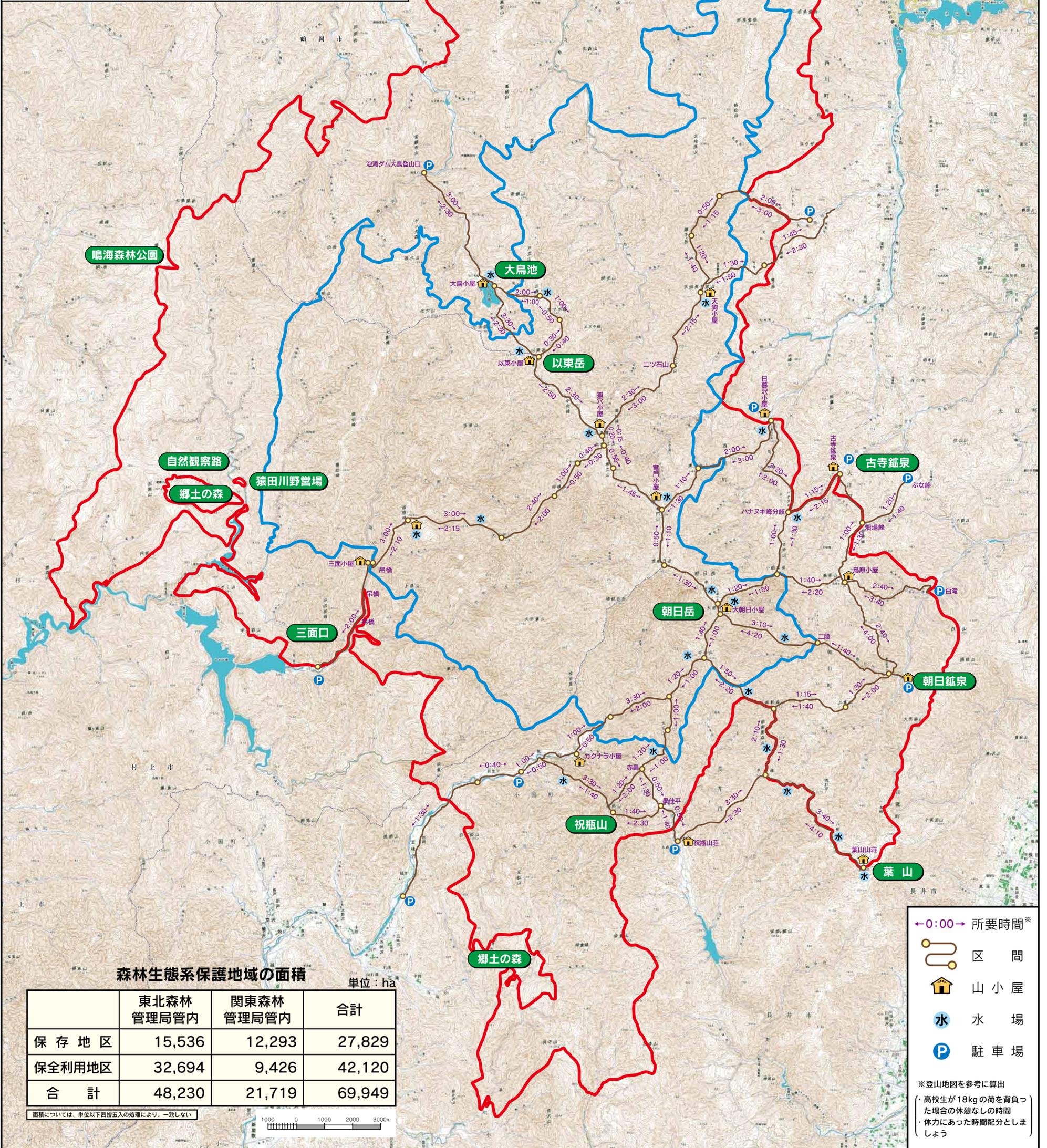
保存地区

保護地域の核となる部分で、モニタリング、生物遺伝資源の利用、学術研究などの利用以外には、人手を加えず自然の推移に委ねることとしています。



保全利用地区

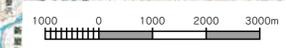
保存地区の森林に外部の環境変化が直接及ばないように緩衝の役割を担っています。
この地区は、自然観察、森林浴など森林レクリエーションの場として利用することができます。



森林生態系保護地域の面積 単位：ha

	東北森林 管理局管内	関東森林 管理局管内	合計
保存地区	15,536	12,293	27,829
保全利用地区	32,694	9,426	42,120
合計	48,230	21,719	69,949

面積については、単位以下四捨五入の処理により、一致しない



- ←0:00→ 所要時間※
- 区間
- 山小屋
- 水場
- 駐車場

※登山地図を参考に算出
・高校生が18kgの荷を背負った場合の休憩なしの時間
・体力にあった時間配分としましょう